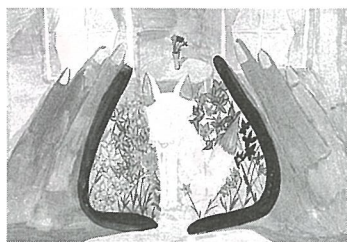




5年1組
向後奈津江さん

※花の色をかえたり、花びんやテーブルに陰をつけ工夫しました。



『窓のきつね』



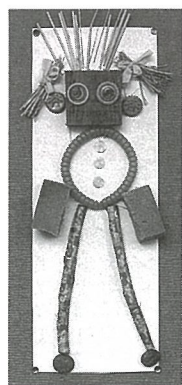
1年
伊藤友孝くん

※仲良しの友達とドレミ階段で楽しく遊んだことを思い出して作りました。



『ドレミかいだんであそんだよ』

あつまれ みんなの力作



『きれいなすほんじおんなのこ』



3年2組
川野友紀さん

※工夫した所は、ワラで髪の毛を結んだり、色紙でスポンを作った所です。



『虫歯予防のポスター』



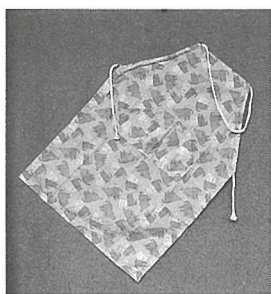
2年
大木亜祐美さん

※鏡の前で大きな口をあけて歯みがきをしているところです。



6年2組
吉田訓子さん

※最初は、ミシンの縫い目が曲ってしまってたがだんだん真直縫えるようになった。

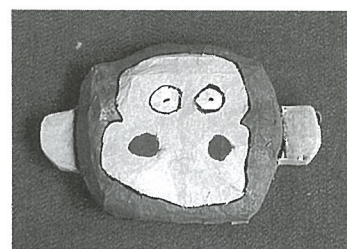


『エプロン』

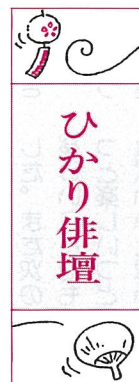


4年2組
橋村啓介くん

※おさるさんの表情を出すのに苦労しました。



『ゆかいな顔』



ひかり俳壇

大木 素風 (二又)
呑み客と旅のアルバム梅雨の余暇

旅のアルバムを肴に気心の知れた友と杯を交す。梅雨の一時もまた楽しい。

鈴木とし子 (宝米)
喪の家の紫陽花までがうつむけり

陰湿の地を好む花木で穂のような丸い花が枝先を揺る。擬人法が生きた作品。

川島 重一 (尾垂)
青梅を音よく噛んで義歯試す

折角の詩情も理屈が入ると詩が逃げる。「試す」は「の口」とした。

鈴木 都根 (橋場)
植え替えしアロエ焦せる別れ霜

山崎 てい (二又)
熟れ梅の香りにひかれ噛りみし

越川せつ子 (篠本)
漬け分けし実梅の瓶に種別札

土屋 義昭 (虫生)
真つ先にトマト噛りし旅の宿

伊藤 幸枝 (尾垂)
孫達と腕ぎたる梅の四斗ほど

短評 椎名しげる